

**第6回草津市総合計画審議会（書面）における
主な意見とその対応について**

頁	主な意見	対応
【(1) 将来に描くまちの姿について (P24・P25)】		
P24 P25	「健幸創造都市」の「創造」という言葉は今までになかった新しいものをつくり出すといった意味を持つ言葉だと思いが、草津市は数年前から「健幸都市草津」を宣言し、様々な活動をすでに行っている。今から新たにあるいは改めて「創造」ということに違和感がある。	「健幸都市」「健幸創造都市」の「健幸」の定義は、どちらも「生きがいをもち、健やかで幸せであること」であり、基本的には同じ考え方です。「創造」については、健幸都市宣言にあるように、市民と『「健幸になれるまち」を共に創り上げていくこと』をより意識した表現としております。
P24 P25	P25には「人々（ひと）のつながり」「地域（まち）のつながり」「時代（とき）のつながり」の3つの輪があり、「地域（まち）のつながり」の注釈に「地域」は各学区や町内会、「まち」は草津市を指していますと表現されている。 P24の上から6行目の「ひと・まち・とき」のつながりを大切に…と中央には「ひとをつなぎ、まちをつなぎ、ときをつなぐ」とあるが、この「まち」は「各学区や町内会など」か「草津市」どちらを指すのか。	P25の「地域（まち）のつながり」でのみ地域にまちのルビを振っており、地域（まち）とまちの区別をしております。御意見の「ひと・まち・とき」のつながりを大切に…の「まち」については、「地域（まち）のつながり」を表しておりますので、「各学区や町内会など」を指しております。
P24 P25	P25の「時代（とき）のつながり」の輪の色とP24の「ときをつなぐ」の字色を合わせたほうが良いのではないかと。	御意見を踏まえ、修正しました。
P24 P25	中央の人のイラストとP25の人が線でつながったイラストとの関連性はあるのか。 人が線でつながったイラストはつながりを表現していると思うが、このイラストは無理に入れたように感じるため、いらぬのではないかと。	P25のイラストについては、各学区に人のイラストを記載しており、それらを線で結ぶことで「ひと・まち・とき」のつながりを表現しております。一方、中央のイラストは、「絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」について、多様な人々が、生きがいをもち、健やかで幸せである「健幸」の様などをイメージして載せております。なお、最終の印刷製本の段階では、市民によりわかりやすくなるようレイアウトやイラストなどを工夫させていただきます。
P24 P25	P25下の「健幸創造都市ー」の内容で「ひと・まち・とき」のつながりで「とき」に関する表現が欠落しているのではないかと。	御意見を踏まえ、修正しました。

頁	主な意見	対応
P24 P25	「住む人、訪れる人、誰もが“健幸”な都市となっていくます。」の表現で、「誰もが“健幸”な都市」ではなく、「誰もが“健幸”でいられる都市」としてはどうか。	御意見を踏まえ、表現について再考させていただきました。御意見の「誰もが“健幸”でいられる都市」については、住む人の視点に限られるように思われますので、住む人だけでなく、訪れる人など、誰もが健幸になっていただけるまちを実現するという思いを込め、「住む人、訪れる人、誰もが“健幸”になれるまちとなります。」に修正しました。
P24 P25	全体を見て、カラー刷りで分かりやすく見やすいと思う。空と町並みのイラストもよいと思う。P25 のイラストの中の「♡ (KUSATSU)」の部分はないほうがスッキリするのではないか。	御意見を踏まえ、修正しました。
P24 P25	中央のイラストについて、子どもから高齢者の人々が描かれているが、農家や商工職、医療関係、教師など、いろいろな仕事をする人のイラストを入れ、人のつながりを表してはどうか。	いろいろな仕事をする人のイラストを入れることについては、多岐に渡る職業の中から、一部の職業を選択することが難しいと考えておりますが、御意見を踏まえ、より多様性を表現するため、高齢者や障害者の方などのイラストを追加しました。
P24 P25	P25 の地域とまち（草津市）の表現について再考をしてほしい。 通常、空間的に見れば「地域>まち」のように思える。しかしながら、P7-8 では「地域≒まち」であり、P25 では「地域<まち」である。 また、P26 のゾーンと地域との関係も明らかではないように思える。 「地域<ゾーン<まち」ということか。 もし、修正で済ませるのであれば、「地域」を「地区」とした方がよいのではないか。	御意見のとおり、地域については、かなり広域的に用いられることがありますが、本計画の中では、地域を各学区や町内会などを指して用いており、「地域<ゾーン<まち」のような関係で整理しております。しかしながら、御意見のとおり、P7-8 では「地域≒まち」のような表現となっておりますので、修正しました。
P24 P25	人々のつながりの、心も身体も健康となりは違和感をやはり覚える。 この文章では行政が健康を守ると解釈するが、それだけ医療体制を行政が整えるという部分については文章が薄く感じる。 総合計画自体の抜本的な見直しを求める。 この計画は各部署の計画を集めただけの計画になっているのではないか。	前回の審議会でもお答えしたとおり、人と人がつながることで、コミュニケーションや活動などが生まれ、健康になっていくと考えております。また、総合計画は、各部署の計画を集めただけのものではなく、市の目指すべき将来ビジョンを示すなど、総合的かつ計画的なまちづくりの指針として、市の最上位計画に位置付けており、当該計画の方向性をもとに各部署において個別計画を作成しております。

頁	主な意見	対応
	真ん中のイラストについて、もう少し多様な人を描いてはどうか。(4人家族が2組あります。学生っぽい人がいてもいいのではないか) 例えば、障害者やけがをした人、外国にルーツを持った人、母子家庭、父子家庭、男性同士・女性同士のカップル、認知症の人など(表現は難しいと思うが、条例施行予定のため) 誰一人取り残さない、『「笑顔」輝くまち』というのであれば、上記のような人も入っているほうがよいと思う。	御意見を踏まえ、より多様性を表現するため、高齢者や障害者の方などのイラストを追加しました。
	健幸創造都市の最後の文で「…住む人、訪れる人、誰もが”健幸”な都市となっていく」とあるが、主部と述部が合わないのではないか。最後は、何が言いたいかわからない。	御意見を踏まえ、「住む人、訪れる人、誰もが“健幸”になれるまちとなります。」に修正しました。
【(2)(1) 以外について】		
ー	今回の事態を受けて総合計画の中に市の防災(防疫を含める)の文章が現状を把握した上で記入されていない。 行政が結果責任を伴う文章を嫌うのは理解するが、もうそんなことを言っている時代ではないことは、行政自身が理解しなければいけない時代である。総合計画自身を再度、構築し直すことを提案する。 現状で“市が市民の健康を守るために、この状況で広報活動を行ったりしているのか疑問に思える”できない理由ばかりを考えるのではなく、出来る理由を考えて頂きたい。この総合計画の根本的な見直しを提案する。	御意見のとおり、新型コロナウイルス感染拡大の現状を踏まえ、まちづくりの基本目標の中に、感染症の流行の内容を追記するなど、修正を検討します。
P28	P28の将来のまちの構造について、地図を2つに分けたらどうか。例えば1ページに地図2つの方が分かりやすい気がする。前回から大きな矢印を消しているが、まだ何か読みにくい。環状軸と主要道路・主要河川の線の太さが同じであり、また、拠点名とゾーン名など文字も多すぎちゃごちゃしていると感じる。 拠点名は地図に記載せずに、サークルに番号をふるなど、凡例として、名前を書くとか工夫してほしい。	将来のまちの構造については、「まちのゾーン」「まちの拠点」「まちの軸」などの位置や関係性などがわかりやすいよう1つの地図としております。いただいた御意見を参考にさせていただき、最終の印刷製本の段階では、市民によりわかりやすくなるようレイアウトを工夫させていただきます。